学校整理番号(115)

動物管理科　昼間部
ドッグトレーナーコース

１年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	犬学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	細田 信幸						
	実務経験	有	ジャパンケネルクラブ（JKC）公認審査員資格取得。現在もブリーダーとして活躍し、メディアへの出演も多数有り。				
授業概要	犬体名称・用語の理解　畜犬団体による形態・用途によるグループ分けを理解する。実際に犬種を観察しスタンダードを理解し特徴・性質を知る。					授業形式	講義
到達目標	犬の骨格構成を理解しそれぞれ犬種の違い、かつての役割などを知ることによりブリーダー、審査員、訓練士、トリマーなど動物専門職として犬の才能を開花させ加えて健全な犬を後世に保存・継承する事が出来る						
教科書・教材・服装等	犬種図鑑　筆記用具						

授業計画	授業内容
1	犬学について
2	スタンダード図鑑の見方、犬の起源　畜犬団体の登録犬種・グループ分け
3	形態・用途によるグループ分け　1～2Gの特徴・属する犬種
4	形態・用途によるグループ分け　3～5Gの特徴・属する犬種
5	形態・用途によるグループ分け　6～8Gの特徴・属する犬種
6	形態・用途によるグループ分け　9～10Gの特徴・属する犬種
7	形態・用途によるグループ分け　1～１０G復習
8	前肢骨・後肢骨構成・名称を理解する
9	前肢骨・後肢骨構成・名称の復習
10	歯列・歯の名称を知る　咬み合わせ(シザーズバイト…)を知る
11	生体を観察しスタンダードを理解する
12	生体を観察しスタンダードを理解する
13	試験範囲の説明と対策
14	前期の復習
15	犬の骨格構成　名称を理解する
16	犬の骨格構成　名称の復習
17	犬種名の由来・犬種の特徴　1～2G
18	犬種名の由来・犬種の特徴　3～5G
19	犬種名の由来・犬種の特徴　6～7G
20	犬種名の由来・犬種の特徴　8～9G
21	犬種名の由来・犬種の特徴　10G
22	ダックスフンドのスタンダードついて
23	AKCグループ分け　8グループ制について
24	AKC属する犬種、特徴
25	AKC属する犬種、特徴
26	犬種名の由来・用途・特徴
27	犬種名の由来・用途・特徴の復習
28	試験範囲の説明と対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグブリーディング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2　単位
		通年	2　単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	細田 信幸						
	実務経験	有	ジャパンケネルクラブ（JKC）公認審査員資格取得。現在もブリーダーとして活躍し、メディアへの出演も多数有り。				
授業概要	1.ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得するものです。					授業形式	講義
到達目標	繁殖を行うには事前に知っておくべきことが数多くある。産ませる動機、繁殖に向かない犬、台雌種雄の選び方などを理解しておく。さらに助産法や蘇生法などを理解する必要がある。						
教科書・教材・服装等	犬種図鑑　筆記用具						

授業計画	授業内容
1	命の大切さについて
2	仔犬を産ませる動機　繁殖してはいけないケース(遺伝性疾患がある)
3	繁殖してはいけないケース(遺伝性疾患がある)
4	繁殖の目標　種オスの選び方　ブリードラインについて
5	交配に適した時期と年齢　交配相手として適さない色素と毛色
6	交配相手との取り決め(交配料はいくらか)　メス犬の健康チェック
7	発情周期　４つの時期の特徴　発情兆候
8	交配時期　交配適期を知る方法 交配前の準備　交配の実際
9	実際の交配の映像鑑賞　妊娠の兆候　妊娠の確認(レントゲン検査など)
10	補助の必要性 犬の子宮・胎膜について
11	犬の妊娠期間
12	生命誕生DVD鑑賞
13	試験範囲説明と対策
14	妊娠犬の健康・栄養管理(食餌の与え方など)
15	受胎までのプロセス　DVD鑑賞
16	産室の作り方　出産に必要なもの　自然分娩と帝王切開について
17	出産の兆候　陣痛のサイン　出産のプロセス1
18	出産の兆候　陣痛のサイン　出産のプロセス2
19	難産と分娩の異常　母乳の異常
20	助産の方法　難産の手助け
21	蘇生の方法
22	初乳について　新生児の管理
23	人工哺乳について　作り方・与え方
24	仔犬の感染症(ウィルス感染、内部寄生虫)
25	離乳食の作り方　与え方
26	仔犬の選び方
27	MIX犬について
28	試験範囲説明と対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ドッグトレーナーコース
科目名	愛犬飼育管理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	冨澤 彩						
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフーディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、ドッグアロマケア講座等を開催。				
授業概要	①愛犬飼育管理士の認定条件を満たす為の知識。 ②犬のプロとして必要とされる知識（法律知識・犬の生態・犬種ごとの特徴など） ②お客様に寄り添った、円滑なコミュニケーションを取る為の知識。					授業形式	講義
到達目標	動物業界で働くためのに必要な法律知識の理解と、「犬」という動物の生態などを正しく理解する。 ご家庭ごとに合わせた適正な管理方法をご提案できる。愛犬飼育管理士の認定条件を満たす。						
教科書・教材・服装等	「愛犬飼育管理士 教本」、筆記用具						

授業計画	授業内容
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明・資格取得の意義
2	なぜ資格が必要か・飼い主様から見た犬のプロとは・接客時に大切なこと
3～7	第３章「適正な飼育管理」
8~11	第６章「犬学」
10	人気犬種の特徴・起こりやすい問題行動・かかりやすい病気「プードル」
11	人気犬種の特徴・起こりやすい問題行動・かかりやすい病気「ダックスフンド」
12	人気犬種の特徴・起こりやすい問題行動・かかりやすい病気「ラブラドール・レトリバー」
13	人気犬種の特徴・起こりやすい問題行動・かかりやすい病気「ヨークシャー・テリア」
14	人気犬種の特徴・起こりやすい問題行動・かかりやすい病気「柴」、天然記念物指定犬とその取り扱いについて
15	総復習・定期試験範囲の説明と対策
16~20	第４章「適正な健康管理」
21	第１章「動物愛護」
22~26	第２章「動物愛護のための法律知識」
27	第５章「犬の繁殖学」
28~29	第７章「猫、その他の動物」「特定動物」
30	１年間の総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験、資格認定試験			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験90点以上・認定試験合格・平常点 優れている
	B評価	出席率60％以上・定期試験80点以上・認定試験合格・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・定期試験70点以上・認定試験合格・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ペット健康管理学					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	千田 純子						
	実務経験	有	千田アニマルクリニック院長。獣医師免許取得をはじめ、さまざまな動物関係の資格を取得し、生涯を通しての家庭犬の健康管理を行っている。				
授業概要	ドッグトレーナーや、ペットショップスタッフなど、犬に関わる仕事に従事するためには、健康管理の方法を理解することが必要である。健康管理をする際に不可欠な知識や技術を身につけるだけでなく、飼い主に対する指導を行う際に必要とされる実践的な知識を学ぶ。					授業形式	講義
到達目標	イヌの健康管理をする際に不可欠な知識や技術を身につけるだけでなく、飼い主に対しても質問や相談に対応できるようになる。						
教科書・教材・服装等	コンパニオンアニマルの新・健康管理学　インターズー 授業内配布資料						

授業計画数	授業内容
1	自己紹介・授業説明・授業の概要と目標　健康の概念を理解する
2	動物の正常状態と異常状態を見分ける
3	第１症　日常の管理　散歩、運動、排尿、排便などの意義と目的について
4	全身の手入れについて
5	イヌの登録、避妊・去勢のメリット・デメリットについて
6	ワクチン接種の意義、種類、注意点について
7	イヌ糸状虫症について
8	外部寄生虫
9 ～ 11	腸管内寄生虫
12 ～ 14	第２症　栄養学の基礎知識
15	前期まとめ　質疑応答
16	前期復習　栄養学の基礎知識
17	食事に関わる問題について
18	第３症　応急処置
19	第４症　感染症の予防　微生物の種類・感染症・感染経路
20	滅菌法、消毒法
21	院内感染・ペットショップ内感染とその予防法
22	真菌感染症、細菌感染症など
23	第５症　ズーノーシスの定義や学ぶ意義
24 ～ 26	ズーノーシス 各論
27 ・ 29	第６症　動物介在介入について
30	後期まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％・定期試験や小テスト90点・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～75点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグプレイニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	10 単位
		通年	10 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	小林 正希						
	実務経験	有	PULLERを日本に普及させ、DOGマリンスポーツメーカー株式会社COREZON代表取締役、(一社)日本アニマルピック委員会代表理事であり、ペット産業界に精通している環境を活用し、ドッグスポーツ普及を視点とした授業を実施することで社会の即戦力を養成。多様化する社会のニーズに適応できる広い見地からの指導を目指します。今年度は、ドッグダンス界 で日本の第一人者であり、日本代表として海外でも活躍する伊藤哲朗先生を主任講師としてさらに授業を強化しています。				
授業概要	1.ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得するものです。					授業形式	演習
到達目標	学習習慣を身につける／各種ドッグスポーツの理解／レトリーブ攻略法の習得／ペット関連企業の認知						
教科書・教材・服装等	運動に適した服装　PULLER、ディスク、他、ドッグスポーツ関連教材						

授業計画	授業内容
前期　1-6	A・B共通　小林(自己紹介/ペット業界概論/DOG PLAYNING概論) 伊藤(遊びのテクニック/実演/まとめ)　全員受講
7~12	・入学からの感想発表　・2年生との交流　・ドッグスポーツグループ研究発表役割分担 ・犬の気持ちを体験するゲーム　①シェイピングゲーム　②ノーズワーク ・4/29 ドッグダンスイベントの概要説明
13~18	2年生との交流　ドッグスポーツ グループ研究実施　動画でのドッグスポーツ概論
19~24	企業連携　ボーヤファム／日本DOG SUP協会／ピースワンコジャパン(予定)
25~30	2年生との交流　ドッグスポーツ 研究発表の資料作り　ドッグトレーニング 実習
31~36	2年生との交流　ドッグスポーツ 研究発表　ドッグトレーニング 実習　集団演舞他
41～44	アウトプットトレーニング　2年生との交流　後期実習に向けての準備　ドッグスポーツ実習　集団演舞
45	まとめ　後期実習についての概要と夏期休暇中の課題提示　(全員受講)
後期　46～52	DOG PLAYNING概論　1・2年性合同授業　グループ分け　パートナードッグ決定
7~12	ドッグスポーツ　①-1 ドッグダンス 服従訓練の集団演舞化【予定】
13~18	ドッグスポーツ　②-1 ノーズワーク　(PULLER)【予定】
19~24	ドッグスポーツ　③-1 ガンドッグ　【予定】
25~30	ドッグスポーツ　②-1 アジリティ　【予定】
31~36	ドッグスポーツ　②-1 デスクドッグ　【予定】
37~42	企業連携　動物撮影実習【予定】
43~48	企業連携　様々なドッグスポーツ　(DOG SUP/愛犬救急救命/ドッグパラセーリングetc.)
49~54	ドッグスポーツ　①-2 ドッグダンス 服従訓練の集団演舞化【予定】
55~60	ドッグスポーツ　②-2 ノーズワーク　(PULLER)【予定】
61~66	ドッグスポーツ　③-2 ガンドッグ　【予定】
67~72	ドッグスポーツ　②-2 アジリティ　【予定】
73~74	ドッグスポーツ　②-2 デスクドッグ　【予定】
75~78	①-3 ドッグダンス 集団演舞まとめ　DOG PLAYNING 総括

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・レポート提出			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100%・レポート提出100%、内容 100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90%以上・レポート提出100%、内容99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80%以上・レポート提出80%、内容89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	D.I.N.G.O.（ADICT-ONE）					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	福島 詩菜						
	実務経験	有	ADICT-TWOまでの資格を保有し犬のみならず小動物から爬虫類までのトレーニングを学ぶ。自身でも何種類かの動物で経験を積んでいる。				
授業概要	・犬の歴史 ・学習理論 ・クリッカーの基礎 ・クリッカーの実践					授業形式	演習
到達目標	D.I.N.G.O.（ADICT-ONE）のライセンス取得						
教科書・教材・服装等	配布プリント、筆記用具						
授業計画	授業内容						
1 ～ 6	犬の歴史、学習理論、クリッカーの基礎①、クリッカーの実践①						
7 ～ 12	クリッカーの基礎②、クリッカーの実践②						
13 ～ 18	実技・筆記試験						
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実技試験	
	・ライセンス取得				○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100％・平常点 優れている					
	B評価	出席率99～90％以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～80％以上・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ドッグトレーナーコース
科目名	グルーミング実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山田 梨織						
	実務経験	有	トリミングサロンでの実務経験を活かし、実際の現場で必要になる知識や技術を指導することができる。JKC公認トリマーライセンス所持。				
授業概要	1.ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得するものです。					授業形式	実習
到達目標	基本的なグルーミング方法（爪切り・耳掃除・肛門線絞り・シャンプー・ブロー・コーミング）を学び、120分で1頭をひとりで仕上げられるようにする。						
教科書・教材・服装等	実習着						

授業計画	授業内容
1～6	オリエンテーション（施設・自己紹介）道具確認
7～12	犬の扱い方・グルーミングにおける怪我や諸注意、ブラッシング・コーミングデモ実習・爪切り/耳掃除デモ
13～18	ブラッシング・コーミング・爪切り・耳掃除の実習・シャンプーデモ
19～24	ブラッシング・コーミング・爪切り・耳掃除実習・シャンプーデモ（短吻種）
25～48	プードル・シーズー・Mシュナウザーのグルーミング実習・オーラルケア
49～90	他犬種のグルーミング・反復練習
91～96	前期グルーミング実習の復習
97～102	小型犬～大型犬までの様々な犬種のグルーミング
103～180	グルーミングの反復練習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（授業意欲、態度など）			実技試験
	・技術習得度		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・技術レベル上位1/3
	B評価	出席率70%～89%以上・平常点 普通・技術レベル 2/3
	C評価	出席率50%～69%以上・平常点 やや劣る・技術レベル 下位1/3
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグトレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	大川 隼人						
	実務経験	有	JAHA認定 家庭犬しつけインストラクター取得。個人宅への出張でのレッスンや動物病院でのしつけ教室を開催。				
授業概要	犬の生態やニーズ、行動・ボディーランゲージの意味を理解し、動物の福祉や倫理に配慮した犬の扱い方、科学的なトレーニング方法を学ぶ					授業形式	実習
到達目標	・犬と人の安全管理を考慮しながら犬を扱えるようになる ・犬の学習の仕方を理解する						
教科書・教材・服装等	テキスト「犬と猫との暮らしの教科書」、実習着、スニーカー、メモ帳 フードポーチ、リード(太、細)、Pリード、スリッカー、コーム、ウェットティッシュ						

授業計画	授業内容
1 ～ 6	自己紹介、施設案内、Pリードの装着、クレートからの出し方、抱き上げ方
7 ～ 12	片手でのリードの持ち方、止まり方、誘導法、人が椅子に座った状態での抱っこ
13 ～ 18	古典的条件付け・オペラント条件付け①、誘導法で犬を動かす、お手入れ(足拭き)
19 ～ 24	ボディーランゲージを理解する、行動観察①、基本コマンド(おすわり)、お手入れ(ブラッシング)
25 ～ 30	オペラント条件付け②、行動観察②、基本コマンド(ふせ)、歯みがき(シート)
31 ～ 36	3つのFについて、シャイな犬・扱いにくい犬へのアプローチ、馴化と鋭敏化(拮抗条件づけ、系統的脱感作)
37 ～ 42	訓練士とインストラクターの違い、基本コマンド(おいで)、足元での自発的なふせ、歯みがき(歯ブラシ)
43 ～ 48	家庭犬のニーズ、基本コマンド(ヒールポジション)、基本コマンド(クレート)、お手入れ(目ヤニ取り・耳掃除)
49 ～ 54	家庭犬の適切な環境設定、基本コマンド(ヒールで歩く)、お手入れ(爪切り)
55 ～ 60	4つのDについて、基本コマンド(おすわり・まって)、お手入れ(あおむけ抱っこ)
61 ～ 66	特別授業(押切先生/家庭犬のトレーニング・使用するグッズ)、基本コマンド(ふせ・まって)、お手入れ
67 ～ 72	前期のまとめ(各基本コマンドの復習、お手入れの方法の復習)
73 ～ 78	認定試験(筆記・実技)
79 ～ 84	前期の復習(安全管理、トレーニングの手順)
85 ～ 90	クリッカートレーニング、刺激の中をヒールポジションで歩く
91 ～ 96	歩行中のおすわり・ふせ、トリックに挑戦①(８の字)
97 ～ 102	マット、トリックに挑戦②
103 ～ 108	カウンセリング、しつけ教室のポイント・トリックに挑戦③
109 ～ 114	デモ①「カウンセリング＆マンツーマンレッスン」・行動形成①
115 ～ 120	デモ②「カウンセリング＆マンツーマンレッスン」・行動形成②
121 ～ 126	デモ③「しつけ教室①」・行動形成③
127 ～ 132	デモ④「しつけ教室②」・行動形成④
133 ～ 138	デモ⑤「しつけ教室③」・行動形成⑤
139 ～ 144	問題行動への対処方法・行動形成⑥
139 ～ 144	問題行動への対処方法・行動形成⑦
145 ～ 150	マナーハンドラーテスト体験・行動形成(発表)
151 ～ 156	認定試験(筆記・実技)

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・期末試験（筆記・実技）			実技試験
	・平常点（提出物・授業準備・参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・期末試験(筆記・実技)80点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率79～60％以上・期末試験(筆記・実技)79～60点以上・平常点 普通
	C評価	出席率59～30％以上・期末試験(筆記・実技)59～30点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	訓練実習					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	杉浦一希						
	実務経験	有	犬トレーニング玩具輸入販売会社に就職、犬関連イベントへの出店・企画、関連グループ会社にて遊びを通したトレーニングを実践				
授業概要	犬の行動を理解し、トレーナーとして必要な技術・知識を用いた犬に負担の少ないトレーニング方法を考え、実践し技術を身に付ける					授業形式	実習
到達目標	犬のボディシグナルを読みながら、犬の扱い方や自身の体の使い方を学び安全管理を怠らないトレーナーを目指す。						
教科書・教材・服装等	実習着、フードポーチ、リード、ケア道具、スニーカー(インヒール不可)、ノート・筆記用具						

授業計画	授業内容
1 ～ 6	施設案内、クレートからの出し入れ、犬の健康チェックの仕方、Pリードの付け方復習、抱っこ復習
7 ～ 12	担当犬の観察、誘導、首輪の説明、首輪の装着、停座
13 ～ 18	停座復習、8の字、大型犬・中型犬のコントロール
19 ～ 24	ポリスドッグ、犬具(首輪・リード)、8の字復習、大型犬・中型犬のコントロール
25 ～ 30	古典的条件付けとオペラント条件付け、伏臥、脚側停座
31 ～ 36	脚側行進、犬の周りをまわる
37 ～ 42	犬の食生活を知ろう、フードのパッケージ、ご褒美の価値
43 ～ 48	BCS（ボディコンディションスコア）の確認方法、脚側伏臥
49 ～ 54	停座（身体的補助）
55 ～ 60	伏臥(身体的補助)、犬の周りをまわる
61 ～ 66	遠隔の方法、停座から伏臥
67 ～ 72	熱中症、スピン
73 ～ 78	イベント運営時に考えること、ターン
79 ～ 84	前期の復習、体符+アラウンド、
85 ～ 90	紐付き脚測行進、自由選択科目
91 ～ 96	紐無し脚測行進、自由選択科目
97 ～ 102	停座及び招呼、自由選択科目
103 ～ 108	おもちゃ遊び、自由選択科目
109 ～ 114	8の字歩き、自由選択科目
115 ～ 120	常歩行進中の停座、自由選択科目
121 ～ 126	常歩行進中の伏臥、自由選択科目
127 ～ 132	イベント企画・設定
133 ～ 138	イベント企画・準備
139 ～ 144	イベント企画・設営と実践
145 ～ 150	自由選択科目
151 ～ 156	自由選択科目
157 ～ 162	自由選択科目
163 ～ 168	自由選択科目
169 ～ 174	自由選択科目

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・小テスト80点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率70％以上・小テスト70点以上・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・小テスト50点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1　単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	松本 繁美						
	実務経験	有	メディア等各局で司会やキャスターを経て、研修会社を設立。様々なセミナー、講演会をプロデュースする傍ら、自らも講師として活躍。				
授業概要	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。					授業形式	講義
到達目標	基本の挨拶、メールの送り方、電話応対、話し方など、しっかりと覚えておくべきマナーとルールを身につける。シチュエーション別に自然な態度で礼儀作法にかなった接遇ができるようになるのが目標。						
教科書・教材・服装等	ビジネス・ハンドブック						

授業計画	授業内容
1	セルフ・プレゼンテーション
2	挨拶／お辞儀
3	言葉遣い　敬語１
4	言葉遣い　応対用語
5	電話応対　基本
6	電話応対　取次
7	手紙のルール
8	メール・SNS　のルール
9	訪問のマナー
10	来客応対　席次　案内
11	エレベーターのマナー
12	イノベーション・ゲーム
13	自己の棚卸し
14・15	総まとめ　テスト対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	津島 幸織						
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講				
授業概要	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。					授業形式	講義
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。						
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ビーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ビーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ビーコンラーニングサービス）1,080円						

授業計画	授業内容
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する
3	LIFO診断
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解
5	強みの確認①
6	強みの確認②
7	強みの確認③
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）
9	自分の強みを確認する④
10	就職室の紹介
11	『Google classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）
12	業界インターンシップについて
13	就職セミナーについて
14	企業研究の仕方
15	強みの使い過ぎの確認
16	強みの拡張
17	自己分析シートの完成
18	福利厚生・社会保険について
19	身だしなみ指導
20	企業説明会①
21	インターンシップに向けて
22	ESの作成指導
23	自己PRの基本構築と作成
24	電話のかけ方
25	インターンシップ事前準備
26	志望動機の基本構築
27	インターンシップ準備、企業説明会②
28	履歴書作成準備
29	企業説明会③
30	課題レポートの作成

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・課題提出・平常点 優れている		
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合		

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	行元 菜々						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	学校生活について①
2～3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定
4～5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ
6～7	メラビアンの法則、言葉遣い
8～9	学校行事についてのディスカッション①
10～11	学校行事についてのディスカッション②
12	敬語表現や使い方
13	まとめ
14～15	学校生活について②
16～17	学校行事についてのディスカッション③
18～19	学校行事についてのディスカッション④
20	プレゼンテーション例
21～27	プレゼンテーションと振り返り
28	総まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合